

議会報告

令和6年3月那珂川市議会定例会

会期26日間(2月29日から3月25日まで)
39件、諮問2件、意見書1件、決議1件が上程され
審議されました。

令和5年度一般会計補正予算	5億 47千973万円	余減額
令和5年度一般会計予算	224億 7千929万円	余
令和6年度一般会計予算	205億 8千985万円	余
対前年度比	+2.0%	(1億 8千708万円増)

■主な議案のみご紹介します

- ①消防団員の報酬及び費用の弁償を見直します。
- ②10月から小学生まで医療費無料化が始まります。
- ③教育サポートセンター(わかば学級)が移設されます。
- ④五ヶ山水源公園に地域おこし隊が新たに任用されます。
- ⑤産後ケアが拡充され、出張型に加えて宿泊サービスも開始されます。



詳しくは、春田ともあきホームページ <http://haru3.net/> をご覧ください。

■定例議会を振りかえって

私は、過去議会で不登校支援に対してサードプレイス(第三の居場所)を作るように、執行部に提唱して参りました。

今年度、教育サポートセンターの拡充を図るため、中央公民館にあるサードプレイスである校外適応指導教室(わかば学級)が移設整備され、また那珂川中サポートルームをスペシャルサポートルームとし、その運営や関わり方をもとに考え、他の2つの中学校にも広げる方針が示されました。これにより不登校生徒の支援が一層充実されます。

3月議会 一般質問

「DX担当部署の新設を」

- 春田 地方自治体の発展に大きな影響を与える自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)について、どのような認識をしているか。
- 部長 デジタル技術を活用し、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化と行政サービスの向上を図るもの。
- 春田 本市におけるDXの現状は。
- 部長 マイナンバーカードを利用した介護保険などの申請がオンラインで可能。
- 春田 本市のDXへの取り組みは遅れている。DX担当部署の新設やデジタル技術と知識に長けた専門職を採用し、その分野の人材育成が必要と思うが。
- 部長 現時点では、専門職の採用までは考えていないが、将来の状況により検討すべき事項と認識している。

「LINEを利用した行政サービスについて」

- 春田 令和3年12月議会でLINEを利用した行政情報のサービスを尋ねたが、その後の推移は。
- 部長 令和3年時点では、防災情報と新型コロナウイルスワクチン接種の情報のみだったが、令和5年6月から公式LINEをリニューアルし、メニューの追加やセグメント配信機能を併せて導入した。
- 春田 キャッシュレス決済の拡充の検討はどうなったか。
- 部長 先進地の取り組みを調査研究したい。
- 春田 LINEスマートシティ推進パートナープログラムの参加は。
- 部長 令和6年度から参加する方向で動いている。
- 春田 デジタルデバイド(情報格差)を解消するためのLINEや、スマートフォンの講習会は行っているか。
- 部長 行政区向けのスマートフォン教室開催を次年度以降も継続して行きたいと考える。